

## 【FdData 中間期末：中学公民】

### [少子高齢化]

#### ◆パソコン・タブレット版へ移動

### [合計特殊出生率の低下→少子化]

#### [問題]

現在の日本では、子どもの数が減少する少子化が深刻な問題になっている。少子化の原因としては、結婚年齢が高くなったことや、保育所の不足などのために働くことと子育ての両立が難しいことなどによって、( X )出生率が減少したことがあげられる。文中の X に適語を入れよ。

#### [解答]合計特殊

## [解説]

### [少子化の原因]

働くことと子育ての両立が難しい  
結婚年齢が高くなった



合計特殊出生率の低下



少子化

現在の日本では、子どもの数が減少する  
少子化<sup>しょうしか</sup>が深刻な問題になっている。少子化によって、総人口も 2005 年を境に減少に転じている。

少子化の原因は、合計特殊出生率<sup>ごうけいとくしゅしゅっしょうりつ</sup> (女性 1 人あたりが一生の間に出産する子どもの平均人数) の減少である。長期的に人口を維持していくためには、合計特殊出生率 2.1 人が必要であるとされる。日本では、1970 年には 2.13 人であったが、2019 年には 1.36 人となっている。

合計特殊出生率が減少した原因としては、まず、女性の社会進出が進んだが、保育所の不足などのために働くことと子育ての両立が難しいことがあげられる。また、結婚年齢が高くなったことも出生率減少の原因である。

(統計修正)「日本国勢図会 2021/2022」

P41

※出題頻度:「合計特殊出生率の低下→少子化○」「働くことと子育ての両立が難しい△」

「結婚年齢が高くなった△」

## [問題](2 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 女性 1 人あたりが一生の間に出産する子どもの平均人数を何率というか。
- (2) 日本では(1)の率が低下することでどのような問題が起きているか。漢字 3 字で答えよ。
- (3) (1)の率が低下した原因を，次のア～エから 2 つ選べ。  
ア 医療の進歩。  
イ 働くことと子育ての両立の困難。  
ウ 平均寿命の伸び。  
エ 結婚年齢の上昇。

[解答](1) 合計特殊出生率 (2) 少子化

(3) イ, エ

### [問題](3 学期)

次の文中の①～④に適する語句を書け。

現在の日本では、子どもの数が減少する( ① )化が深刻な問題になっている。(①)化の原因としては、結婚年齢が( ② )なったことや、働くことと( ③ )の両立が難しいことなどによって、合計特殊出生率が( ④ )したことがあげられる。

[解答]① 少子 ② 高く ③ 子育て(育児) ④ 低下(減少)

## [少子高齢社会]

### [問題](1 学期中間改)

現在の日本では、合計特殊出生率の減少により子どもの数が減る少子化が進行している(少子化によって、総人口も2005年を境に減少に転じている)。また、65歳以上の老年人口が全人口に占める割合は28.8%(2020年)で、この割合は今後ますます増えるものと考えられる。このように、少子化と高齢化が同時に進行する社会を何とというか。

### [解答]少子高齢社会

## [解説]

[少子高齢社会：少子高齢化]

合計特殊出生率の低下→少子化

平均寿命ののび→高齢化

現在の日本では、合計特殊出生率<sup>ごうけいとくしゅしゅつしょうりつ</sup>の減少により子どもの数が減る少子化<sup>しょうしか</sup>が進行する一方で、平均寿命<sup>じゅみょう</sup>ののびによって高齢化<sup>こうれいか</sup>が進みつつある。このような現象を少子高齢化<sup>しょうしこうれいか</sup>といい、少子高齢化が進行している社会を少子高齢社会という。少子高齢化によって、2005年以降、出生数が死亡数を下回り、日本の人口は減少に転じた。

※出題頻度：「少子高齢化(少子高齢社会)

◎」「平均寿命ののび→高齢化○」

「合計特殊出生率の減少→少子化○」

[問題](1 学期期末)

次の文の①～③にあてはまる語句を下の[ ]からそれぞれ選べ。

現在は、( ① )の減少で子どもの数は少なくなり、一方、平均寿命ののびによって( ② )の割合は増えており、( ③ )社会とよばれる。

[ 若年者 死亡率 高齢者

合計特殊出生率 少子高齢 ]

[解答]① 合計特殊出生率 ② 高齢者

③ 少子高齢

## [問題](2 学期中間)

少子高齢化に関連して述べられた次のア～エのうち、適切でないものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア 少子化の背景として、仕事と育児の両立の困難さや、結婚年齢の高まりによって合計特殊出生率が上昇したことがある。
- イ 高齢化の背景として、医療の発達などにより、平均寿命がのびていることがある。
- ウ 少子高齢化の進展した社会を少子高齢社会という。
- エ 少子高齢化の進展によって、社会保障制度費用を負担する世代の経済的負担が重くなっている。

[解答]ア

[解説]

アが誤り。「合計特殊出生率が上昇」ではなく「合計特殊出生率が減少」である。

[問題](前期期末)

少子高齢社会とはどのような社会のことをいうか。「子ども」、「高齢者」という語句を使って、簡単に説明せよ。

[解答]子どもの数が少なくなり、高齢者の割合が大きくなっている社会。

## [問題](前期期末)

日本の少子高齢化について説明した次の文の①～④に適する語句を下の[ ]からそれぞれ選べ。

日本は、合計特殊出生率の( ① )と平均寿命の( ② )による少子高齢化で、少子高齢社会となった。さらに、2005年以降( ③ )が( ④ )を下回り、日本の人口は減少している。

[ 減少 のび 死亡数 出生数 ]

[解答]① 減少 ② のび ③ 出生数  
④ 死亡数

[問題](1 学期期末)

次の文を読んで、後の各問いに答えよ。

日本の人口は( A )年をさかいに減り始めた。これは、a 1人の女性が一生のうちに生む子どもの平均人数が減ってきたからである。b 子どもの割合が減るいっぽうで高齢者の割合が高くなることを( B )といい、日本では、急激に進んでいる。

(1) 文中の(A)にあてはまる数字を、次の [ ] から 1 つ選べ。

[ 1945 1965 1985 2005  
2010 ]

(2) 文中の(B)にあてはまる語句を、漢字 5 字で書け。

(3) 下線部 a に関して, 2019 年におけるこの数を, 次の[ ]から 1 つ選べ。  
[0.89 1.36 2.10 3.65]

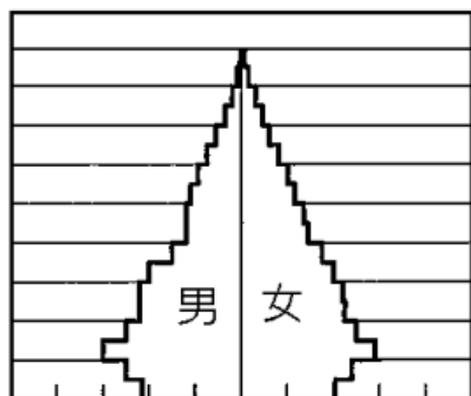
(4) 下線部 b に関して, 2019 現在の日本の 65 歳以上の高齢者の割合は約何%か。次の[ ]から 1 つ選べ。  
[8% 18% 28% 38%]

[解答](1) 2005 (2) 少子高齢化  
(3) 1.36 (4) 28%

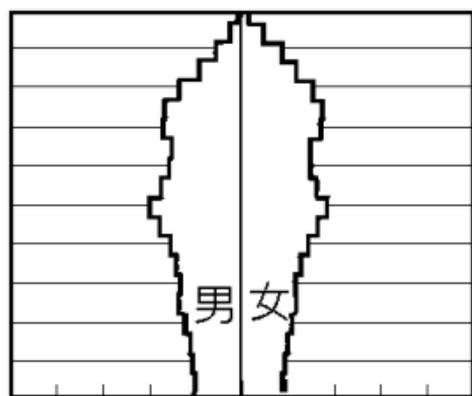
[問題](3 学期)

次のグラフは、1960 年と 2019 年の日本の人口ピラミッドである。

A



B

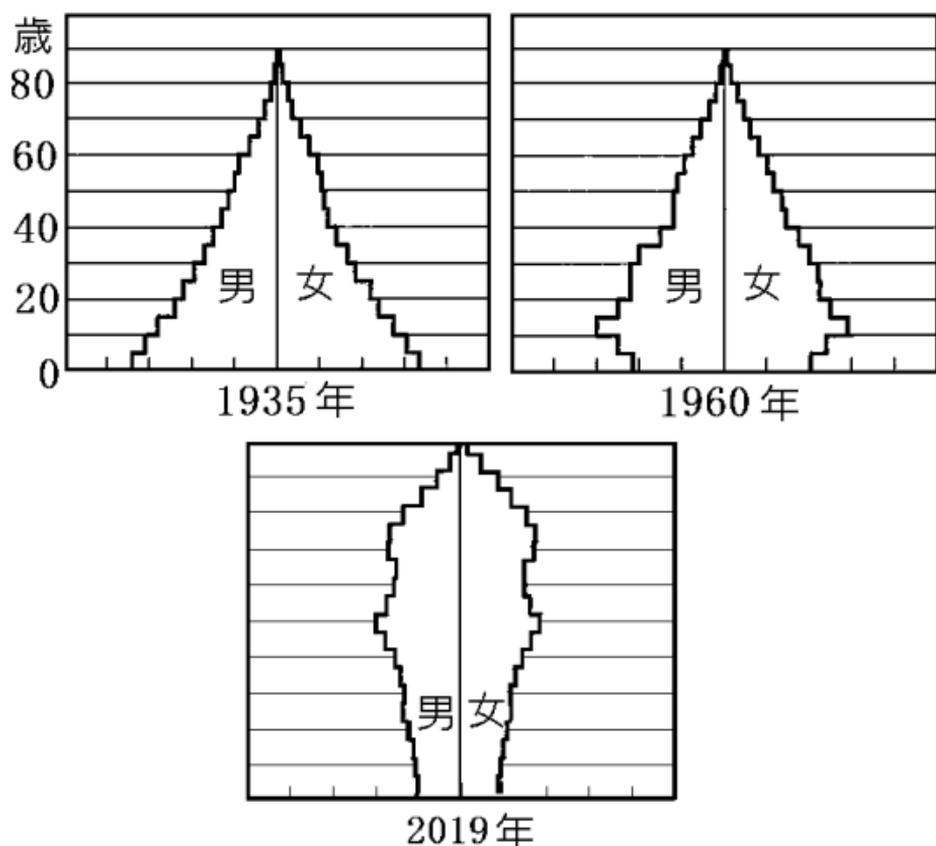


- (1) 少子高齢化の特色を表しているのは A, B のどちらの人口ピラミッドか。
- (2) 日本の総人口は、今後どのように変化していくと考えられるか。

[解答](1) B (2) 減少していくと考えられる。

## [解説]

[日本の年齢別人口割合]



65 歳以上の老年人口が全人口に占める割合は、1965 年 6.3%→1975 年 7.9%→1985 年 10.3%→1995 年 14.3%→2005 年 20.0%と増加し、2019 年には 28.4%となっている。今後、老年人口がさらに増加していくことは確実である。

合計特殊出生率が現在の水準で推移する  
とした場合、21 世紀半ばには、人口の約  
4 割を 65 歳以上の高齢者がしめると予  
想されている。

(統計修正)「日本国勢図会 2020/2021」

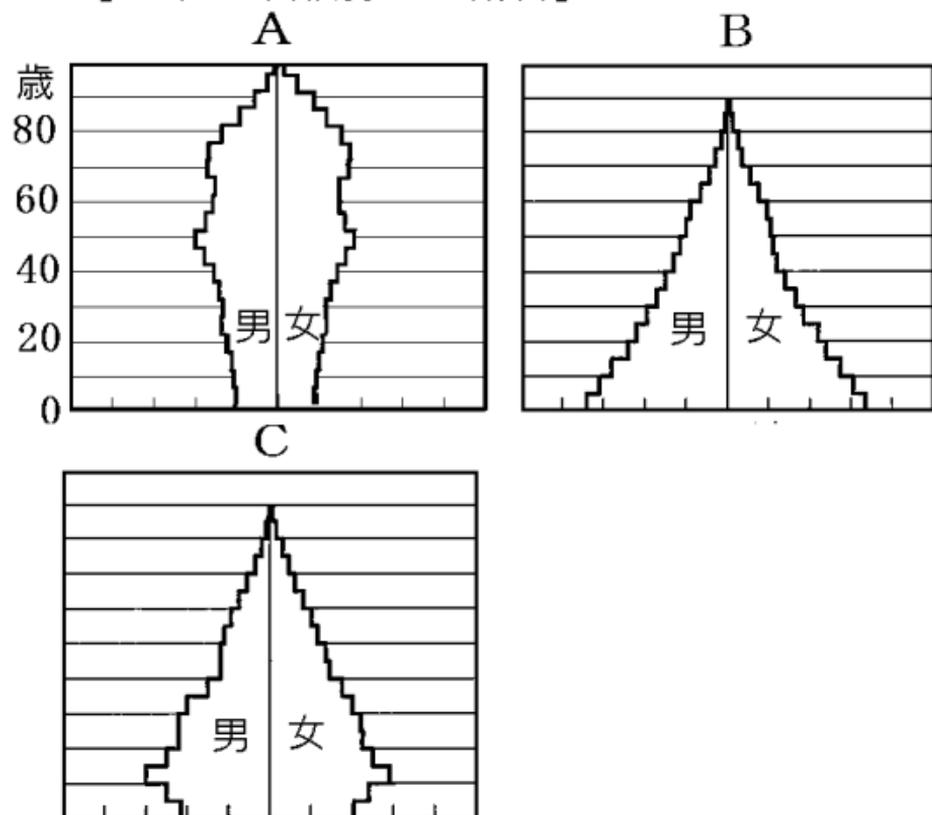
P42, 43

※出題頻度:「人口ピラミッドを古い順に  
並べ替えよ○」

[問題](1 学期期末)

次の資料は、日本の年齢別人口割合の1935年、1960年、2019年のいずれかのものである。推移してきた順番に並べよ。

[日本の年齢別人口割合]



[解答]B→C→A

## [多様化する家族]

### [問題]

日本の家族は、戦後、祖父母と親と子どもとで構成される三世代世帯の割合が低下し、親と子ども、あるいは夫婦だけの( X )世帯の割合が高まった。近年は、一人暮らしの単独世帯の割合も高まっている。文中の X に適語を入れよ。

### [解答]核家族

### [解説]

[多様化する家族]

三世代世帯は減少

**核家族世帯**, 単独世帯が増加

かつては、<sup>そふほ</sup>祖父母・父母・子どもで構成される三世代世帯<sup>せたい</sup>が多かった。農村部では祖父母、父母、子が同じ家に住み、共

同して農作業や家事<sup>かじ</sup>を分担<sup>ぶんたん</sup>し、子育てや高齡者の介護も家族で行うのが普通であった。1950年代後半からはじまる高度経済成長は、多くの人々を農村から都市に引き寄せた。その多くは若い人々であり、親元を離れて都市で新しい家庭をもった。こうして、夫婦と子どもを中心とした核<sup>かく</sup>家族<sup>かぞく</sup>世帯が増えていった。核家族世帯には、夫婦のみの家族、夫婦と子どものみの家族、父(母)と子どもからなる家族がある。現在では、三世代世帯が減少し、核家族世帯や単独世帯の割合が増加した。核家族が多い現代では、子どもの保育や高齡者の介護を家庭だけで行うことが難しくなっている。

※出題頻度：「三世代世帯の減少△」「核家族世帯の増加◎」「単独世帯の増加△」

[問題](1 学期期末)

次のア～エのうち、核家族はどれか。  
記号ですべて選べ。



[解答]ア, ウ, エ

## [解説]

イは祖父母・父母・子どもで構成される三世代世帯である。夫婦のみの家族(ア), 夫婦と子どものみの家族(エ), 父(母)と子どもからなる家族(ウ)は核家族世帯である。

## [問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 祖父母と親と子どもで構成される世帯を何世帯というか。
- (2) 親と子ども, あるいは夫婦だけの世帯を何というか。
- (3) 近年, 特に増加している一人暮らしの世帯を何というか。

[解答](1) 三世代世帯 (2) 核家族世帯  
(3) 単独世帯

[問題](1 学期期末)

高齢者世帯や共働きが増加したことで  
育児や介護に生じている影響を「家族」  
の語句を使って説明せよ。

[解答]育児や介護を家族だけで担うのが  
難しくなっている。

## [少子高齢社会の課題]

### [問題]

現在の日本は、すでに少子高齢社会に突入しているが、高齢者の数が増えると、高齢者の生活を支える公的年金や医療、介護などの社会保障にかかる費用が増大する。同時に、それを支える現役世代の数が減少するため、現役世代1人あたりの負担が(軽くなる／重くなる／変わらない)。文中の( )の中から適語を選べ。

[解答]重くなる

### [解説]

#### [少子高齢化の問題点]

高齢化 → 社会保障費の増大

少子化 → 現役世代の減少



現役世代1人あたりの負担が重くなる

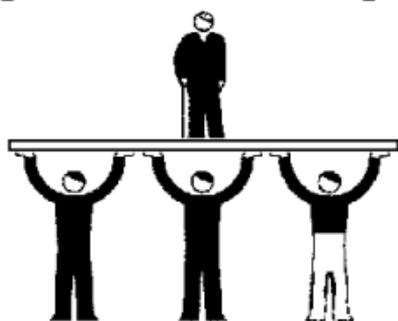
現在の日本は、すでに<sup>しょうしこうれいしゃかい</sup>少子高齢社会に突入しているが、今後もさらに人口の高齢化が進むと予想されている。高齢者の数が増えると、高齢者の生活を支える公的年金や医療、介護などの社会保障にかかる費用が増大する。同時に、それを支える現役世代の数(生産年齢人口)が減少するため、現役世代1人あたりの負担が重くなる。

※出題頻度:この単元はよく出題される。

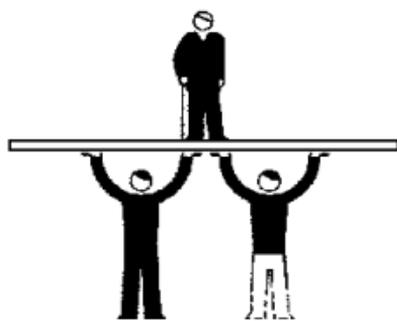
[問題](2 学期中間)

次の資料を参考に、説明文の空欄①～④にあてはまる語句を、下の[ ]からそれぞれ選べ。

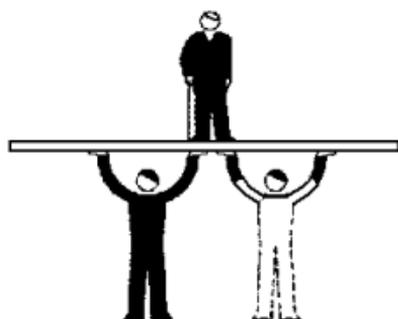
[国民の年金負担]



2010年度  
2.4人で1人



2030年度  
1.6人で1人



2050年度  
1.1人で1人

少子高齢化は、( ① )の人口が減少することを意味する。一方で高齢者は( ② )を受給し、公的な医療保険や( ③ )保険などの給付を受けることが多くなる。そのため、少子高齢化が進むと(①)1人あたりの経済的な負担が重くなるなど、( ④ )のあり方に影響が出ることが予想される。

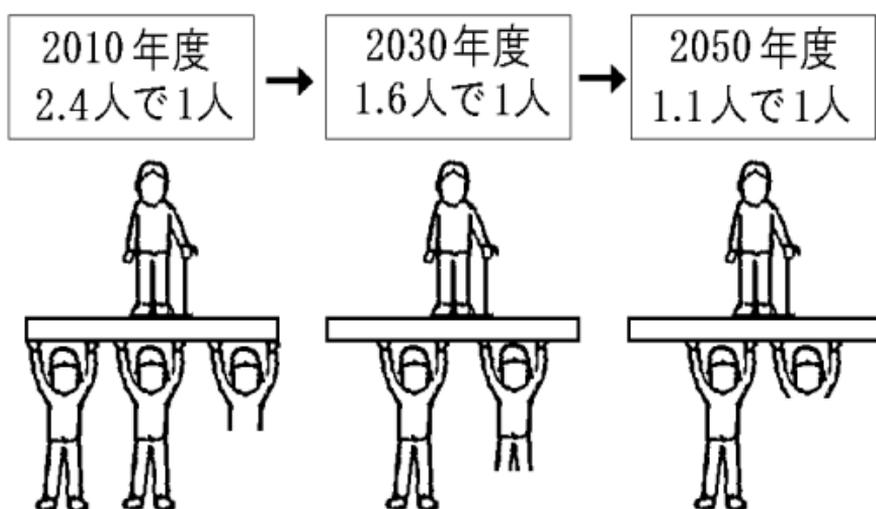
[ 社会保障 年金 介護 現役世代 ]

[解答]① 現役世代 ② 年金 ③ 介護  
④ 社会保障

## [問題](1 学期期末)

次の資料から、少子高齢化が進むと、社会保障のあり方に影響が出ることが予想される。その理由を、「社会保障に関する」「1人あたり」「負担」の語句を使って書け。

[高齢者1人分の年金を支える現役世代の数]



[解答]社会保障に関する現役世代1人あたりの経済的負担が重くなるため。

[問題](1 学期期末)

少子高齢社会の影響について、正しいものには○，間違っているものには×をつけよ。

- ア 現役世代の人口が増加する。
- イ 社会保障のあり方には影響がない。
- ウ 現役世代の年金負担が増える。
- エ 公的医療保険の財政負担が増える。

[解答]ア × イ × ウ ○ エ ○

[問題](1 学期期末)

少子高齢社会において、①増加するものと、②減少するものを、次の[ ]からそれぞれ2つずつ選べ。

[ 現役世代の人口 就学児童数

自然災害 年金の受給者

介護保険の受給者 ]

[解答]① 年金の受給者，介護保険の受給者 ② 現役世代の人口，就学児童数

## [問題](前期期末)

少子高齢化による社会的影響として正しいものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア 高齢化が進むことにより現役世代1人あたりの負担が増加していく。
- イ 少子化の影響により今後の日本の人口は増加せず、今の水準を保ち続けると予想されている。
- ウ 現役世代の人口が増加するが、産業は不活性化し、その分税収入は減少していく。
- エ 公的医療費や介護医療費などの社会保障費は、高齢化の影響により減少する。

[解答]ア

## [解説]

アは正しい。

イは誤り。日本の人口は少子化の影響で減少していくと予測されている。

ウは誤り。現役世代の人口は減少していくと予測されている。

エは誤り。高齢者の増加によって公的医療費や介護医療費などの社会保障費は増加していくと予測されている。

【各ファイルへのリンク】

社会地理

[\[世界1\]](#) [\[世界2\]](#) [\[日本1\]](#) [\[日本2\]](#)

社会歴史

[\[古代\]](#) [\[中世\]](#) [\[近世\]](#) [\[近代\]](#) [\[現代\]](#)

社会公民

[\[現代社会\]](#) [\[人権\]](#) [\[三権\]](#) [\[経済\]](#)

理科1年

[\[光音力\]](#) [\[化学\]](#) [\[植物\]](#) [\[地学\]](#)

理科2年

[\[電気\]](#) [\[化学\]](#) [\[動物\]](#) [\[天気\]](#)

理科3年

[\[運動\]](#) [\[化学\]](#) [\[生殖\]](#) [\[天体\]](#) [\[環境\]](#)

## 【FdData 中間期末製品版のご案内】

このPDFファイルは、FdData 中間期末をPDF形式(スマホ用)に変換したサンプルです。製品版のFdData 中間期末はWindows パソコン用のマイクロソフトWord(Office)の文書ファイル(A4版)で、印刷・編集を自由に行うことができます。

### ◆FdData 中間期末の特徴

中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は、実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約1800～2100ページと豊富な問題を収録しているため、出題傾向の90%以上を網羅しております。

FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは、「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受け

た今回の期末試験では、ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として、塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ、成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

#### ◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし、FdData 中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を、鉛筆を使って一問一問解き進むことで、大きな学習効果を得ることができます。さらに、製品版は、すぐ印

刷して使える「問題解答分離形式」、編集に適した「問題解答一体形式」、暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の3形式を含んでいますので、目的に応じて活用することができます。

### [FdData 中間期末の特徴\(QandA 方式\)](#)

#### ◆FdData 中間期末製品版の価格

社会地理, 歴史, 公民 : 各 7,800 円

理科 1 年, 2 年, 3 年 : 各 7,800 円

数学 1 年, 2 年, 3 年 : 各 7,800 円

ご注文は電話, メールで承っております。

### [FdData 中間期末\(製品版\)の注文方法](#)

※パソコン版ホームページは, Google  
などで「fddata」で検索できます。

※Amazon でも販売しております。

(「amazon fddata」で検索)

【Fd 教材開発】 電話 : 092-811-0960

メール : [info2@fdtext.com](mailto:info2@fdtext.com)